JPAだより

No.201308

編集·発行 / 全国圧入協会 技術委員会 TEL 03-5781-9155 E-mail jpa@atsunyu.gr.jp

工法普及の最前線 技術講習会・現場見学会を全国で展開中

当協会では、圧入工法の優位性を広く普及することを目的に、建設分野の専門技術者が継続的に能力開発を図る教育制度(CPD認定制度)を活用した技術講習会を全国で開催しています。また、発注者や元請業者等を対象に、優れた圧入技術を施工現場で体感できる現場見学会を会員と協働で実施しています。

技術講習会の紹介

技術講習会のプログラムは、「基礎編」と「応用編」に分かれます。まず基礎編では、国土交通省・新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている各工法の効果や活用について、現場施工後に国から受けた事後評価を紹介。これにより各工法の優位性を解説しています。



[国による各工法の事後評価]

- ■ノンステージング工法: 仮設不要のため工期短縮に有効で、従来工法に比べ工程、品質、出来形、安全性、施工性、環境面が優れる。
- ■鋼管矢板圧入工法: 工期が短縮され経済性も向上している、無線操作のため安全性に優れる、導枠材(ガイド)の取り付けが不要で施工性に優れる等から従来技術に比べ優れた効果がある。
- ■上部障害クリア工法: 橋などの桁下に空間がなく施工不可能であった 箇所が施工可能となり、優れた効果がある。
- ■硬質地盤クリア工法: 工程においてきわめて優れている。また経済性、 安全性、施工性、環境性において優れており、従来工法、他工法に比較 して活用が可能。

一方、応用編では、「河川護岸・水路」と「道路・橋脚」の2コースに分け、設計段階から非常に厳しい制約があり、従来工法では施工できないなど多くの問題があった現場を、圧入工法の応用により解決した事例を解説しています。今年度、技術講習会は7月までに北海道、関東、中部、近畿において延べ13回開催し、受講者は合わせて363名に上りました。技術講習会は、今後、東北、九州、沖縄での開催を計画しており、継続して圧入工法の普及を図っていきます。

国土防災 講習会・現場見学会を開催

7月19日(金)、愛知県豊橋市において会員企業の㈱小澤土木様との 協働による、講習会・現場見学会を開催しました。

現場の豊橋海岸では、干拓された地盤の上に堤防が築造されており、 大規模地震の発生時に地盤の液状化による堤防の沈下や、続く津波によ る破堤で甚大な被害が想定されています。その対策として、愛知県では海 岸堤防の耐震化整備事業を進めており、当現場では、標準のウォーター ジェット併用圧入工法に加え、堤体内に転石や流木等の障害物が確認さ れることから、設計変更にて硬質地盤クリア工法が採用されています。

当日は、官公庁・建設コンサルタント・元請業者などから36名が参加。 圧入工法の基礎知識に関する講習と現場見学会を行いました。参加者からは「施工がスムーズで振動や騒音が少ない」、「堤体への影響が抑えられる」、「硬質地盤クリア工法で検討したい案件がある」などのコメントが寄せられ、防災・減災技術としての圧入工法への関心の高まりを実感できた1日となりました。



[工事概要]

発注者 愛知県東三河建設事務所 工事名 海岸高潮対策工事(4号工)(全国防災) 工事場所 豊橋市神野新田町地内 元請者 藤城建設㈱ 圧入施工 ㈱小澤土木(当協会員)

広幅型鋼矢板 II w 型 L=17.0~17.5m 1,554 枚

平成25年度 会員総会を開催 ~ さらなる業界の発展にむけて

6月6日(木)に東京都港区のザ・ランドマークスクエア・トーキョーにおいて「平成25年度会員総会」が開催されました。当日は、 理事会や講演会、懇親会も開かれ、業界の最新動向や未来について参加者全員が理解を共有する良い機会となりました。

総会には会員73名を始め報道関係者など総勢100名を超える方々が参集。最初に振井会長より、会員の協力のもと工法普及活動が順調に進んでいること、また会員数が131社と前年度末に比べ10社増加しているなどの報告と挨拶がありました。次に前年度の事業・決算報告ならびに今年度の計画・予算が審議され全会一致で承認されました。総会後の講演会では、名誉会長で㈱技研製作所の北村精男社長による「インプラント構造による国土防災の最新動向」、ジェイアール東日本コンサルタンツ㈱の石橋忠良会長による「鉄道構造物の地震被害と今後の対策」と題した講演と、国際圧入学会の奥村忠彦事務局長による同学会の活動報告が行われ、圧入工法の今後の広がりに大きな期待が膨らみました。懇親会も終始和やかな雰囲気で進み、協会事務局と会員間の結びつきが大いに深まりました。







挨拶をする振井会長

講演に聴き入る出席者の皆さん

圧入の未来を忌憚なく語り合いました

好条件化情報 【パイルレーザー】

計画法線の設定が正確かつスムーズに行え、高精度施工を可能にします。



<特長>

- ・質量はわずか1.5Kg と軽量コンパクト。
- ・レーザー光線は直射日光下でも鮮明。
- ・電源はアルカリ単一電池1本で50時間以上作動。
- ・丸棒や角材などに自在に固定でき、使用範囲が多様。
- ・独自のアーム構造で位置決めが簡単。出射角度の微調整も容易。

【新会員のご紹介】

Infomation

事務局からのお知らせ

◇ 協会Webサイトに、「会員専用サイト」を開設しました このたび、会員各位の事業活動支援を目的に会員専用サイト を開設しました。積算資料および安全資料のダウンロードが簡 便になりました。ぜひご利用ください。

◇ 今後の協会活動(予定)

・官公庁への技術講習会・・・鹿児島県・熊本県事務所(8月) 沖縄県南部国道事務所(9月)

新潟県各事務所(9月)

•技術講習会 •••沖縄地区(9月)

・ブロック会議・・・ 関東地区(8月)、北海道地区(9月)、 九州・沖縄地区(9月)、東北地区(10月)

各地区の会員との意見交換と協会活動への反映を目的に 今年度も7月に東海・近畿・北信越・中国・四国の各地区で 開催しました。該当地区の会員には別途詳細を案内します。

協会Webサイト www.atsunyu.gr.jp

正会員

・ (有)池上クレーン 鹿児島県霧島市
・ (株)SR基工 千葉県富里市
・ (株)砂井(さごい) 新潟県新潟市
・ 進英技研(株) 大阪府大阪市
・ (有)福嶋商会 和歌山県和歌山市
(2013年4月~7月入会会員、50音順)

【会員数の状況】(2013年7月31日現在)

・ 正会員 134社・ 協賛会員 6社・ 賛助会員 3社1団体・ 個人会員 10名